

KOUNAN SMILE vol.35

～江南ラミネートを取り巻くすべての人たちに笑顔を～

2019.8



ボクハ、キミにアイを伝えるために、生まれた。

未来を担う若者に、それぞれの年代に合わせて社長は本をプレゼントしています。先日中学生に『ソパニールヨ』の本をプレゼントしていました。まだ読んでなかったのが慌てて読んだら...

本の終盤、涙、嗚咽、嗚咽、号泣...涙なしには読めませんでした(ToT) 本でこんなに泣いたことあったかな!?って感じです。

ストーリーは読んでもらうとして、本の中に出てきた【必要最低限を超えたときに本当の楽しさがある】という話を少し紹介。

<必要最低限を超える>と聞いてどう思いますか？

勉強も嫌いで、今が楽しければいいの中学1年生の隼人。必要最低限の宿題さえやりたくないのに、それを超えて勉強するなんて「損」、部活の朝練でみんなより早く行くなると「損」、出てくるのは「損」「ムダなこと」「意味ない」という感情でした。みなさんはどうですか。一生懸命やってるし必要最低限以上のことはしてる！と感じた人も多いかもしれませんね。でも無意識に「これくらいやっておけば問題ない」と何となくしてしまっていることってありませんか？私はあります！(笑) やることはやっているから誰かから指摘されるわけでもなく、むしろ必要最低限しかしていないという意識がないかもしれません。例えば朝礼や研修への取り組み方はどうでしょう。必要最低限のことだけをしている時間は「浪費」と「消費」、必要最低限を超えようとした時間だけが「投資」に。投資とは未来の自分のためになるように使うことです。なので朝礼や研修もただ受け身で言われたことだけをしていたら、それは「浪費・消費」の時間になります。それこそもったいない！挨拶で考えてみるとどうでしょう。「おはよう

ございます」と言っていれば問題はないかもしれませんが。でも「いつもよりちょっと大きな声でしてみよう」とか、大きい声を出している人は「もう少し笑顔でやってみよう」とか、笑顔ができていない人は「いつもより気持ちを込めてやってみよう」とか。必要最低限のラインは人それぞれ違うのかもしれませんが。自分の中の必要最低限を超えようと、半歩でも行動にうつしたとき「消費」から「投資」の時間になるのだと思います。

そうそう先月から始まった致知の感想文。必須ではないので出さなくても全然OKです(笑) 書かなくてもいいモノをわざわざ書くなると「損」と捉える人もいるかもしれませんね。でも必要最低限を超えて提出している人は間違いなく自分への「投資」になっています！私も提出していますが(アピール笑)、ただいつも締切りギリギリ(^^;) その部分については必要最低限を超えられていないですね(><) 自分の中の必要最低限をどう超えるか、1つ1つ考えてみると、できることは まだまだ たくさんあり、いかに必要最低限の中で過ごしていることが多いことに気づかされます。生きるということは時間を使うということ。減っていく命の時間を、浪費と消費だけで終わらせるのではなく、投資の時間を多く作ってより良い人生にしていきたいなと思いました。

少し堅い話題にしてしまいましたが、本はもっと読みやすいし、もっと深いし、もっとわかりやすいです(笑) AIロボット・ユーザーに会い、隼人が成長していく姿、それを見守る父と母それぞれの葛藤と深い愛...。そして最後にユーザーのいう「アイ」の意味がわかったとき...!!!

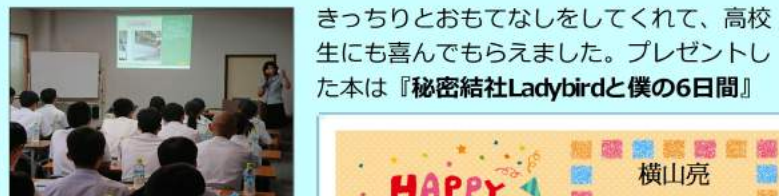
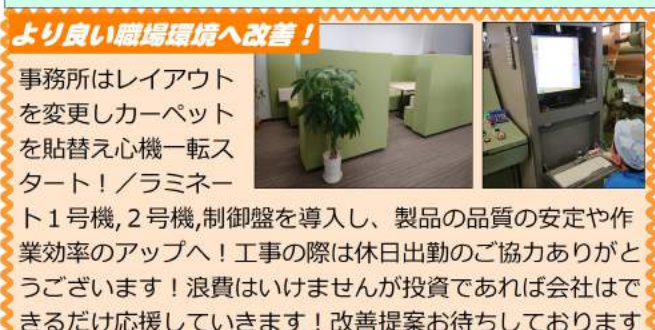
ぜひみなさんにもユーザーの「アイ」に触れてほしいです！

b y き よ こ

11日 川之江高校2年生・会社見学に 「地域における体験学習・工場見学」で40名ほどの生徒さんが来てくれました。会社説明、工場見学、クイズ大会。打ち合わせの少ない中、社員のみなさんがきっちりとおもてなしをしてくれて、高校生にも喜んでもらえました。プレゼントした本は『秘密結社Ladybirdと僕の6日間』

25日 in 東京 チーフ・ハピネス・オフィサー養成講座 日本初のこの講座。坂川さんと宗石さんが受講してくれました。報告会を開き社内に落とし込んでいってくれることありがたいことです。アウトプットの力がある2人が受講してくれていることで、この研修はわが社にとってより価値あるものになりますね。全部で8回。これからも期待しています！

より良い職場環境へ改善！ 事務所はレイアウトを変更しカーペットを貼替え心機一転スタート！ノラミネート1号機、2号機、制御盤を導入し、製品の品質の安定や作業効率のアップへ！工事の際は休日出動のご協力ありがとうございます！浪費はいけません投資であれば会社はできるだけ応援していきます！改善提案お待ちしております



HAPPY BIRTHDAY 横山亮 8月14日 40歳 坂川昌治 8月20日 61歳 大塚直樹 8月23日 50歳

8月17日 大掃除 お昼のお弁当は会社で用意します。かき氷大会も♪ 8月24日 慰労会 幹事：第2工場 よろしくをお願いします！

今月の主役！

毎月1人をランダムにピックアップ！ 仲間のことをもっと知ろう！というコーナー



今月の主役は坂川昌治さんです。皆さんの知らないアレコレ、調査してきました！坂川さんは周囲からは穏やかな性格だと言われますが、非常に頑固なところもあるそうです。人と対話する時は柔和に、仕事はきっちりという姿勢に反映されていますね！趣味は釣りや健康のためのジョギングで、休日天気がいい時は趣味の釣りをしたり墓掃除などをしたり奥さんと食事に行ったりしているそうです。そして実はアニメが好きで日曜日の朝はワンピースを見ているそうですよ！のんびりと充実した過ごし方でなんだか羨ましいです！話は変わりますが坂川さんは長く食品会社で商品開発をしていましたが実は好き嫌いが結構あったそうですよ。ふふふ好きなことは「本屋さんへ行くこと」「新聞を読むこと」、苦手なことは「人前で話すこと」「掃除をすること」です！特に新聞に関しては『学生の頃からずっと新聞を読んでいて、新聞にはテレビに無い価値があると思います。今では新聞を読まない日は不安です。あれだけの情報量を考えると購読料は安いと思います。皆さんもぜひ新聞を読んでください』と熱い想いを語ってくれました。坂川さんのお気に入り、「愛南町の高茂岬からの景色(絶景)」と「ドラッカーの本」で、この本はビジネス

7月21日高知市に中村文昭さんの講演会を聴きに行きました。300人入れる会場は満員で熱気ムンムンでした。参加者は10代〜20代の人が多くいました。私は中村さんの話を初めて聴いたのは40代のときですが、若い頃に中村さんに出会えるなんて羨ましい限りです、なぜなら中村さんの話を実践していくだけで絶対に今後の人生が楽しいものになっていくからです。そして中村さん本人から直接話を聞く方がより自分の心に突き刺さってきます。今回は若い参加者が多かったため、話の内容もより良い人生、楽しく生活や仕事をしていくための秘訣をいっぱい話してくれました。中村さんの話によく出る言葉「若い時は自分の脳みそにお金を使え」はまさにその通りだと思えます。私自身、会社員の20代のときは全力で遊び、全力で仕事もして、そして全力で学ぶ努力もしました。会社からも仕事終わりのビジネススクールのパンフレットも回覧されましたが、学ぶ機会も、学ぶ内容も自分で探して、もちろん自腹で費用を捻出しました。実際に学んでいる時はしんどいと思うこともありませんでしたが、10年、20年経った今は「あのとき学んでおいて本当に良かった、しんどかったと思うけど努力してくれて本当に良かった」と、10年前の自分自身に感謝しています。みなさんはどうですか？学んでいますか？私も良かれと思い学ぶ機会を少しだけ提供していますが、自分の脳みそに投資できていますか？たしかに学びを始めるまでは大きな壁があり、それを乗り越えるのは気持ち

「カツ社社長がゆく」の巻

講演会を聴きに行きました。300人入れる会場は満員で熱気ムンムンでした。参加者は10代〜20代の人が多くいました。私は中村さんの話を初めて聴いたのは40代のときですが、若い頃に中村さんに出会えるなんて羨ましい限りです、なぜなら中村さんの話を実践していくだけで絶対に今後の人生が楽しいものになっていくからです。そして中村さん本人から直接話を聞く方がより自分の心に突き刺さってきます。今回は若い参加者が多かったため、話の内容もより良い人生、楽しく生活や仕事をしていくための秘訣をいっぱい話してくれました。中村さんの話によく出る言葉「若い時は自分の脳みそにお金を使え」はまさにその通りだと思えます。私自身、会社員の20代のときは全力で遊び、全力で仕事もして、そして全力で学ぶ努力もしました。会社からも仕事終わりのビジネススクールのパンフレットも回覧されましたが、学ぶ機会も、学ぶ内容も自分で探して、もちろん自腹で費用を捻出しました。実際に学んでいる時はしんどいと思うこともありませんでしたが、10年、20年経った今は「あのとき学んでおいて本当に良かった、しんどかったと思うけど努力してくれて本当に良かった」と、10年前の自分自身に感謝しています。みなさんはどうですか？学んでいますか？私も良かれと思い学ぶ機会を少しだけ提供していますが、自分の脳みそに投資できていますか？たしかに学びを始めるまでは大きな壁があり、それを乗り越えるのは気持ち

20日 社風をよくする研修

第4回は「協働・チームワークを高める気づき」マネージャーゲームを通じてコミュニケーションや目的の共有の大切さを楽しく学びました♪そして小林先生をお迎えするウェルカムボード。なんと似顔絵を描いたのは片岡さん！必要最低限を大きく超えてる！

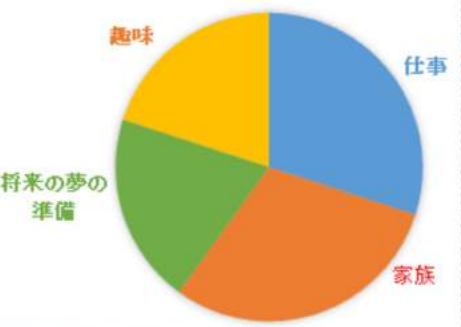
◆おめでとうございます◆ 戸田祐太郎さん 第1子出生 ◆湊(みなと)くん◆

書ですが人の生き方の参考にもなるそうです！

◆あなたの10年前

10年前は50歳でした。前の会社は大きな転換期で仕事のやり方が大きく変わった時期で、仕事に追われていました。とのこと。

◆脳内パーセンテージ



気になります！ 将来の夢...

◆前回の主役(後道さん)からの質問

Q、ここだけは行ってほしい飲食店は？ A、伊予市にある伊予カントリークラブ(ショートコース)3Fで土日に行っているバイキング。手作り感があり、種類も多くてリーズナブルです。(やってない日があるので確認が必要)

以上、坂川さんの調査結果でした！

ち的に大変だということも理解できますが、一つ注意してほしいのは、学びをやるかやらないかの判断をする時に、今の自分の都合だけで判断しないでほしいということ。今の気持ちだけで判断すると、今困っていないからとか今が良ければいいという判断基準になってしまう。単純に楽な道「何もやらない」を選んでしまいます。そしてそれを選んだ後は「今の仕事と関係ない」今やらなくてもいい、必要になってからやればいい」へ先輩もやらないとやらぬ理由を肯定化し、自分の判断は正しいと自分自身に思い込ませることを知らず知らずのうちにしています。そうならないように注意してほしいのです。じゃあ、どうしたら良いのかというと、今の自分ではなく10年後、20年後の自分にきいてみれば良いのです。「この学びはやった方がいい？」と。将来の自分はなんて答えるでしょうか？きっと「俺のために頼むから、今できることを全力でやり、学びを積み、成長して欲しい」と言っただけじゃありませんか。今の仕事と関係ないからと言って、20年後も同じ役割を求められているでしょうか？いつでもできると言いなから、家庭を持ったり子育てが始まったりしたら、自分自身に使える時間は増えるでしょうか？先輩のマネだと一歩だけを見て、何もなかったところから苦勞し今の状態を作り上げた先輩たちと同じだけの経験を、今の思われた環境で積み重ねることができるでしょうか？私が提案する内容はいろいろ吟味して今の江南ラミネートに足りないものを選んでいきます。ぜひとも一つ一つの学びの機会を無駄にすることなく取り組んで成長してくれると本当に嬉しいです。 克晴